

- 第1回ワークショップで皆様からいただいたご意見を6つの視点で整理し、まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性と、地域の将来的な公共施設の再編方針(案)を用途別にまとめました。これについて皆様の意見をお聞きしながら、改善していきます。

1. まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性

- まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性を整理しました。

視点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性（案）
① 地域の活性化 ○若者・観光客にとっての魅力が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のシンボルでもある施設の取組みを工夫する、空き家対策を行うなどにより、若い人が魅力を感じ、外からも人が訪れる施設づくりやまちづくりを行う。 ● コミュニティ活動に使われる場を確保する。
② 変化する社会ニーズへの対応 ○社会ニーズと実態に乖離があり、利用・稼働の少ない施設が散在している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が少なくても地域にとって大切な施設があるため、利用者の声を聞きつつ需要を見極め、必要なものを残していく。 ● 施設形態は変わっても、子供や高齢者のための機能や庁舎機能は地域のために残していく。 ● 現状不足している医療、買い物などの機能を新たに取り入れることも考慮する。 ● 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加を図る。
③ 利便性の確保 ○利便性の確保に不安・懸念がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能の質を維持しつつ統廃合を進めることにより、施設の利用価値や利便性を向上させる。
④ 安全性の確保 ○適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。 ○空き家への懸念。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設は避難所ともなることを考慮しつつ再編を進める。 ● 避難所や避難経路の安全性を確保する。 ● 防犯、耐震、景観などを考慮して、廃止されたまま残っている施設や空き家の解体・活用を検討する。
⑤ 利用しやすさ・運営の工夫 ○利用・稼働の少ない施設が散在している。 ○管理者側に工夫の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用ルールの改変、積極的なPR、施設を利用した新たな取組みの開始など、管理主体の工夫により施設の利便性向上や活性化を図る。 ● 民間のノウハウを取り入れて運営面を強化する。 ● 積極的に利用するなど、地域の人も施設を維持するための努力を行う。
⑥ 効率化・財政負担の軽減 ○老朽化の進む施設、稼働の少ない施設が存在する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間への管理・運営委託により施設維持の方法を模索する。 ● 耐震性の不足や老朽化が懸念される施設、利用率の低い施設は、利便性が変わらないのであれば統廃合を検討する。 ● 利便性が向上する場合は施設の移転を検討する。

2. 地域の将来的な公共施設の再編方針(案)

(1) 集会施設

対象施設	細入公民館、細入南部公民館（新館）、細入北部地区コミュニティセンター
ワークショップで出された意見等(再掲)	<p>(公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校のブラスバンド部が廃部になってしまったために、細入公民館を拠点とした地域住民のブラスバンド部を立ち上げたばかりである。細入公民館は地域コミュニティの大切な場でもある。 ○ 若い世代は公民館を全く使わないのでなくなっても支障はない。お父さん世代が使う施設という認識だ。 ○ 一番大きい細入公民館でも、大きなイベントや細入全体の行事くらいでしか利用しない。 ○ 災害時には猪谷の住民にとって、細入南部公民館（細入南部地区コミュニティセンター）が大切な施設になってくるだろう。峠を越えて細入公民館まではたどり着けないし、下タ南部のコミュニティセンターに避難しようとしても川があるのでたどり着けないと思う。災害時のことを考えると、将来的に公民館は小学校区に1施設といった単純な縮減の仕方はしないほしい。 ○ 楡原と猪谷は峠に挟まれている。楡原は公共施設も多いが、猪谷は少ない。災害時、楡原の住民は避難所である細入公民館にすぐ避難できるが、猪谷の住民は土砂崩れで道路が通れなくなってしまったら細入公民館まではたどり着けないだろう。また、下タ南部のコミュニティセンターに避難しようとしても川があるのでたどり着けないと思う。 ○ 中核型地区センター、公民館、総合福祉センターの3つを1つに統合するのが良いと思う。加えて子どもが放課後にいられる児童館を一緒にすることで、放課後の居場所づくりにもつながる。従来利用率の低かった施設が複合化によって利用率が高くなれば良いと思う。 ○ 細入南部地区コミュニティセンターは猪谷の住民が、細入公民館は楡原の住民が使っており、基本的に自分の地域の公民館しか使わない。稼働率は悪いかもしれないが地域の南北が12km程あるため、夜の会合や高齢者の利便性を考えると、それぞれの地域に公民館は必要だ。 <p>(その他集会施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細入北部地区コミュニティセンターは使ったことがない。目的や要望、必要性があって作った建物ではないので利用者が少ないのも当たり前だろう。自分たちは使わないが、この施設を利用している人の意見を聞いて検討したらどうか。 ○ 細入北部地区コミュニティセンターは、細入村の時代に寄付していただいて市の施設になっている。現在、管理は自治会が担っているが、利用する際の制約が厳しく、利用後に自治会の人を呼んで施設内の確認をしてもらわなくてはならない。気を使ってしまうので細入公民館を利用する傾向にある。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入北部地区コミュニティセンターは、必ずしも市の施設である必要はないのではないか。寄付された建物であり簡単には廃止にできないと思うので、地域や民間に管理・運営を任せて維持する方法を模索してはどうか。安全面などの様々な課題はあると思うが、手を上げる団体はあるのではないだろうか。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の必要となる避難施設の適正配置を検討する。 ○ 集約化を行う際には、アクセスの確保など、利用者への影響を最大限に考慮する。 ○ 集約化あるいは施設更新が必要となった際には、その時の身の丈にあった規模にて整備を行う。また、施設の長寿命化対策を講じる。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入北部地区コミュニティセンターは、廃止または地元団体を含め民間への譲渡を行う。 ○ 総合福祉センター、中核型地区センター、細入公民館の複合化について検討し、細入地域の行政機能や福祉機能、多世代交流機能の重要な拠点として、改修整備を行う。 ○ 将来的な人口推移を見極めて、集会施設を1つに集約化することを検討する。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す 優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)

(2) 図書館、博物館等

対象施設	細入図書館、猪谷関所館
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入図書館は住民や保育所の園児も利用しているし、新しい本もたくさんあるので残してほしい。 ○ 猪谷関所館は猪谷駅にも近く、外国人も含めて観光客がよく訪れている。猪谷駅はJR 高山本線の特急も停まる。このようなことから関所館は富山市の南の玄関口としてシンボリックな役割を果たしていると思う。 ○ 猪谷関所館は市内の子どものための社会教育の場として重要だと思う。展示だけでなく、歴史探訪ウォークなどの企画や様々な研修・講座もしているので、もっとPR等の運営面を工夫すればより素敵な施設になると思う。猪谷のシンボリックな施設になる可能性がある。 ○ 猪谷関所館は、もう少し交通の便が良いところや、人が集まる場所に移転しても良いのではないか。国道沿いの南部地区センターの中に機能を入れれば職員もいるし、駐車場もあるし今よりアクセスしやすくなる。貴重な展示物がある良い施設だとしても、人が来なければ活性化しない。 ○ 猪谷関所館は、もともと関所があった場所ではないし、今の場所にこだわらなくても良いと思う。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの方に利用いただける施設となるよう、積極的なPRや他の施設との機能連携による利用者増を図りつつ、機能を維持する。 ○ 民間活力の導入を検討する。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 猪谷関所館は、貴重な資料を保存するだけでなく、多くの方に見てもらうために、積極的なPRや他の施設との機能連携による利用者増を図っていく。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)

(3) スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）

対象施設	猪谷プール（管理棟）
ワークショップで 出された意見等 （再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○ プールとしての機能は必要ないが、防火用水の機能は残してほしい。 ○ 楡原プールを神通碧小学校のプールとして使用することになり、元々利用していた地域住民が利用できなくなったので困っている。 ○ 楡原プールが使えなくなったので猪谷プールに行くしかないのだが、猪谷プールまで廃止になったら困ってしまう。廃止するのであれば、現在の神通碧小学校のプールを地域住民も利用できるようにしてほしい。 ○ 猪谷地区は子どもが少ないので利用者はほとんどいない。みんな楡原プールを利用している。 ○ 利用者数が多く見えるが、監視の親もカウントされているので実際はもっと少ないのではないか。毎日管理人を置くくらいなら必要ないのではないか。
今後の方向性案	○ 猪谷地区以外からの利用者もいるため、利用状況等の動向を注視していく。大規模改修や建替えが必要となったタイミングで廃止する。
具体的取組み （中長期・短期）	○ 利用者の安全を確保しながら運営を継続していく。ただし、利用状況が著しく悪化した場合や大規模改修が必要となった場合には、施設の廃止について検討する。
短期的な取組み （速やかに着手し、 5年を目途に見直す 優先的検討施設）	○ （具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか？）

(4) レクリエーション・観光施設

対象施設	割山森林公園「天湖森」、飛越ふれあい物産センター「林林」、岩稲ふれあいセンター「楽今日館」
ワークショップで出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天湖森、楽今日館、林林の3施設は、現在、市の第3セクターが運営していて、住民も25%の株主になっている。そのようになった経緯を考えると、3施設は細入地域住民にとって思い入れがある施設であり、地域のシンボルのひとつである。 ○ 林林には野菜直売のコーナーがあり、売れ行きも好調で人気がある。直売をする地域住民（主に高齢者）の生きがいにもなっているようだ。このような取り組みをもっと充実させて活性化につなげることはできないだろうか。 ○ 若い人が魅力的に感じる施設にし、外から人が訪れるようにするのが良い。 ○ 市に頼ってばかりではなく、特別積立などをして(株)ほそいりが改修費等を自分たちで賄えるようにならないといけない。そのためには、観光施設やまちづくりに特化している民間の会社にノウハウを借りたり、3つのレクリエーション施設をまとめて大きいものにするのも考えられるのではないかな。 ○ 施設で働いている現場の従業員だけが頑張るのではなく、経営陣も含めた(株)ほそいり全体でアイデアを出していかないとだめだ。儲けようとしないと活性化には繋がらない。 ○ 楽今日館の温泉はお湯がとても良く、特に女性に効果があるとのことだが、そういったことをもっとアピールしてもよいのではないかな。 ○ 3つ（楽今日館、天湖森、林林）の施設を活性化させるにはPRが一番だ。 ○ 富山市の中心部などに温泉施設等ができ始めたので、観光客が減ってきている。楽今日館などの観光施設にもっと人が来るようにするためにはPRが必要だと思う。施設のポテンシャルはあると思うので、市にはそういうソフト面をサポートしてほしい。 ○ 天湖森を幼稚園や学校の校外学習に使えると良い。最近幼稚園の宿泊学習が流行っている。パークゴルフや釣り、天体観測など、施設内でできることはたくさんある。観光の機能だけでなく、社会教育の機能も持たせることで価値を高められるのではないかな。 ○ 楽今日館は温泉施設もあるので、利用率を上げるために細入総合福祉センターにある入浴機能など的高齢者が利用する施設も敷地内に移転してはどうか。大沢野地域の春日温泉の近くにあるウインディが参考になる。地域の高齢者は観光客よりも安く利用できるようにして、楽今日館が地域の憩いの場になると良い。 ○ 楽今日館のバスを活用することで地域内の高齢者だけでなく、地域外の高齢者も訪れることができるのではないかな。 ○ 地域の人が地域の施設をどれだけ利用しているのだろうか。施設を残したい気持ちがあるのであれば、地域の人が利用して稼働率を上げる努力をしないとイケない。施設の運営者も地域の人のことを考えた運営をすることで、地域に愛

	<p>され、利用される施設になるようにしてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天湖森は思ったよりも利用率が低い。土日の利用率は高いが、平日の利用率が課題になっていると思う。土日は利用しようとしても予約がいっぱいになっていることが多い。 ○ (株)ほそいりは、住民も株主となっているので、簡単にやめて住民に迷惑だけはかけないでほしい。 ○ 林林は、交通の便も良いので利用客はいる。自分たちも地主として土地を貸しているが、契約書に閉店したら土地を返納すると書いてあった。だめになったら返納すれば良いと考えるのではなく、儲けようと努力が必要ではないか。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の活性化につながる機能の導入について検討する。 ○ 多くの方に利用してもらうために、積極的なPRや更なるサービスの充実により利用者増を図っていく。 ○ 利用者増に向けて、民間のノウハウを活用して運営の工夫を行う。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天湖森、楽今日館、林林の3施設は、利用者増に向けて、民間のノウハウを活用して運営の工夫を行う。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)

(5) 学校（小学校、中学校）

対象施設	神通碧小学校、楡原中学校
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内に中学生はいるが、楡原中学校に通っている生徒は少ないと思う。学校が選択制となり、別の地域の学校に通っている。人数が少ないことによる利点もあるが伝わっておらず、部活動などを考えて人数の多い学校に通っているようだ。中学校自体に魅力を持たせられると学校の存続につなげていけるのではないか。 ○ 楡原中学校にはボート部があるので、他の地域からボートをやりたい生徒が通っている。売りにはなるがボートだけでは弱いとも思う。 ○ 子ども達の放課後の居場所がない。親の迎えが来るまで子ども達が待っている場所が現状は狭いので、自由にのびのびとできる場所が必要だと考えている。 ○ 将来的に中学校が無くなるのなら、今のうちに大沢野に移ろうかと考えている人もいる。規模を縮小したり、複合化しても構わないので、保育園、小学校、中学校は地域に残したい。それが若い人の定着につながる。 ○ 学校が選択できるようになって、児童、生徒数が少ない学校を避けて出て行ってしまおう人が増えた気がする。選択肢があるのは良いが、児童、生徒数を更に減少させる要因になってしまった面もある。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な教育環境の確保という観点から、学校統廃合など、今後の小中学校のあり方について、地域の意見も踏まえながら継続的に取組みを進める。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性確保及び機能維持・向上を行う。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入地域の実情に合わせて、学校の適正配置の検討を行う。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)

(6) 幼保・こども園（保育所）

対象施設	ほそいり保育所
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館や児童館もあるので、保育所も小学校に移転してきてはどうか。特色が出ていいのではないか。 ○ 細入保育所は延長保育にも対応してくれるが、勤務先が富山市中心部の人が多いので、なかなか入園児が増えない。 ○ 以前は南部保育所があったが、子どもがいなくなり北部地区の保育所と合併した。旧南部保育所の建物自体はまだ残っている。将来的にも使用しないと思うし、このまま残しておく和不審者が立ち入ったり、動物の住み処になったりする恐れがあるので、解体できるのであれば速やかに解体した方が良いと思う。
今後の方向性案 (中長期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を確保する。 ○ 少子化によって既存施設が過大となる場合は、規模の縮小などを検討する。
具体的取組み (中長期・短期)	
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す優先的検討施設)	

(7) 保健施設

対象施設	細入総合福祉センター
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入総合福祉センター内にデイサービスがあるが、来春からは民営化が決まっている。民営化しても、この場所にあるということが細入地域にとっては重要である。運営形態は変わっても機能は残していきたい施設である。 ○ デイサービスにはリハビリがないので、リハビリしたい人は大沢野に行かざるを得ない。パワーリハビリ等の設備はあるが、対応できる職員がないので使えないのはもったいない。 ○ 細入総合福祉センターは空きスペースがある。地元の物産などを置くスペースとして活用できないか。 ○ 中核型地区センター、公民館、総合福祉センターの3つを1つに統合するのが良いと思う。加えて子どもが放課後にいられる児童館を一緒にすることで、放課後の居場所づくりにもつながる。従来利用率の低かった施設が複合化によって利用率が高くなれば良いと思う。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入地域における保健福祉の拠点としての機能の維持に努める。 ○ 他施設との連携や民間ノウハウの活用により、効率的な運営に努める。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合福祉センター、中核型地区センター、細入公民館の複合化について検討し、細入地域の行政機能や福祉機能、多世代交流機能の重要な拠点として、改修整備を行う。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す 優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)

(8) 庁舎等、消防施設、その他行政系施設

対象施設	細入中核型地区センター
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細入中核型地区センターは耐震性がなく危険である。機能が残せるなら、総合福祉センターと複合化してコンパクトにしても良いのではないかと。 ○ 今の中核型地区センターの規模より小さくしても構わないので、公民館や総合福祉センターなどと複合化するのが良いと思う。細入地域内に庁舎機能は残してもらいたい。 ○ 災害時の避難場所に不安がある。中核型地区センターなど山が裏手にあって大雨の際に土砂崩れの恐れがある避難場所があり、避難するとしても避難場所へ行く道が通行止めとなってしまう所もある。 ○ 細入中核型地区センターは耐震性がないことから、細入公民館か総合福祉センターに複合化されてもよいのではないかと。 ○ 細入中核型地区センター、細入総合福祉センター、細入公民館をすべて複合化しても良いのではないかと。 ○ 中核型地区センター、公民館、総合福祉センターの3つを1つに統合するのが良いと思う。加えて子どもが放課後にいられる児童館を一緒にすることで、放課後の居場所づくりにもつながる。従来利用率の低かった施設が複合化によって利用率が高くなれば良いと思う。 ○ 細入中核型地区センターを建て直すのは難しいと思っている。細入地域に庁舎がなくなった場合は大沢野地域の行政サービスセンターまで行くことになると思うが、大沢野地域の行政サービスセンターは耐震性に問題はないのか。また、細入地域は高齢者も多いので大沢野行政サービスセンターまでアクセスできるようにする方法が必要となるが検討をするのだろうか。 ○ 細入地域は既に施設や居住地がまとまっているのでコンパクトビレッジだと言えると思う。地域の施設全体の面積を縮減するために、複合化はやむをえないが、機能面などの質は確保してもらいたい。面積を縮減する中で機能も細入地域からなくなり、大沢野地域の施設を利用することになるのは不便なので避けたい。細入中核型地区センターの機能は残してほしい。免許などを取るために遠方まで行くのは大変だ。
今後の方向性案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中核型地区センターの機能を地域内に維持する。
具体的取組み (中長期・短期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中核型地区センターの機能を周辺施設へ移転し、残る建物を解体する。 ○ 総合福祉センター、中核型地区センター、細入公民館の複合化について検討し、細入地域の行政機能や福祉機能、多世代交流機能の重要な拠点として、改修整備を行う。
短期的な取組み (速やかに着手し、 5年を目途に見直す 優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ (具体的取組みのうち特に優先すべき取組みは何ですか?)